

KSKP Threshold

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ ニューズレター Vol.28

～すれっしょんど～(出発点)

神戸薬物・アルコール依存リハビリテーションセンター

スレッシュョルドとは、新たな出発点、飛び立つ場所という意味です



長田区の新社屋に神戸ダルクが移転しました

今年もあと僅かになりました。皆様にとって今年一年はどのような年だったでしょうか？
大変な一年だったという方々ばかりのようにも思います。

私の誕生日も 12 月 22 日の冬至であります。一年で一番夜が長い日です。私が生まれた時に占いの方が「この日は大変不吉な日なので 23 日に生まれたことにして役所に提出しなさい」と言われたと聞いています。ですが、私の父が「嘘や偽りで生きていたら、そのような生き方になる」ということで、そのまま提出したそうです。依存症が最悪の頃は、そんな父の行為にも怒りましたね(笑) 私がこんな人生になったのも、父が占い師の言葉を無視したからだ！と。もう、いちゃもんレベルです。

私が依存症から解放され始め、希望を持ち始めた頃、フィリピンで言われたのは「あなたの誕生日は非常に素敵な日、それはこれから太陽の日照時間が長くなっていく最初のスタートの日、イエス様はそんな時にお生まれになった」と。ものは考えようですね。コロナで色々なものが崩壊していますが、神戸が震災から復興したように、この最悪の刻からもう一度やり直すスタート地点だと思いたいものです。

さて、コロナ禍で正式に神戸ダルクの移転ができていませんでしたが、この度、新社屋に正式に手続き上でも移転しました。長田区の商店街の脇になります。この地域にも様々な依存症などの問題を抱えているコミュニティがあります。コロナ収束に合わせて、この地域から繋がりを広げていきたいと思っています。略式ではございますが、移転のご挨拶とさせていただきます。良いお年をお過ごしください。

〒653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18 (昭和筋、菊水温泉のすぐ近くです)

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 代表理事 梅田靖規

自立訓練(生活訓練)神戸市障害福祉サービス事業所 デイセンター リカバリー

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18 ←郵便物はこちらへ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741 e-mail kobe.darc@gmail.com

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ インフォメーションセンター

〒651-0068 兵庫県神戸市中央区旗塚通 1-1-20 長坂ハイツ 2F

共同生活援助(グループホーム) リカバリーホーム TEL078-647-7744 (神戸市須磨区)

姫路アディクションサポートセンター 〒670-0832 兵庫県姫路市双葉町 96 Tel 079-255-5033

智頭リトリートヴィレッジ 〒689-1411 鳥取県八頭郡智頭町八河谷杉の木ランド テニスコート下

www.kobedarc.org

神戸ダルク

検索

神戸ダルクに入社して 神戸ダルクスタッフ 山口健治

8 月 2 日に、入社いたしました山口健治こと(けんぼう)と申します。宜しくお願いします。島根県出身 ポツンと一軒家に出てくるような田舎育ちで、「兀山」(寮)って言われる度に、自分のことのように呼ばれてる感じがしています。事務職として、生活支援員として、今は、書類や手紙などの仕分け、などから学びの毎日をいただいています。

時に、依頼があったパンフレットなどを送らせてもらうと、手紙が返ってきます。その手紙を代表に渡し、その手紙の宛名を書いたりする時に、私も勉強のために読ませていただいています。代表の手紙の一文に、「私のこの手紙が、いい感じで人生の折り返し点になればいいなという思いで書かせていただいています。」と書かれていることがあります。

このフレーズに、自分も感動して、代表に手紙を書こうとしておりましたが、なかなか書ききれてません。というのも自分の今までを手紙にするって大変です。55 年の振り返りですから。手紙はちょっとストップして、今この原稿を書いています。

私にとって、神戸ダルクに入社したことは、眉間に皺をよせて苦しみながら折り返し点をまわり 30 キロ手前になんとかたどり着いた給水ポイントで、梅田代表にスペシャルドリンクを渡された感じです。それがいい感じのタイミングだったんです。神戸ダルクのことは、少し耳にしたことはありました。垂水病院のアディクション外来に昨年の 10 月から通うようになり、ニューズレターと「あなたの声を届ける」が目にとまり、ニューズレターを持ち帰り、「あなたの声を届ける」は職員さんに声をかけて、貸し出してもらいました。私もギャンブル依存症で、2013 年 1 月から GA につながっていたので、やめたいのにやめられない生きづらさに共感することができました。しかし薬物については全くご縁がなかったのに、このご縁に!! です。GA に繋がったとはいえ、3 ヶ月通っては、スリップを繰り返し、またのめり込む、そして底付き、そしてまたつながるを繰り返していました。ギャンブルにのめり込み、嘘と借金を繰り返した結果、家族を失い、自分の好きだった仕事も辞めてしまうことになりました。そこからは、「ギャンブル依存と戦う自分」を、失ったものにしがみついて、ひとりで演じ続けてました。さもギャンブル依存を克服するんだと、自分自身を周囲にアピールしてました。走ることを始めて、ハーフマラソン 2 回、フルマラソン 3 回(神戸マラソン 2 回)、自転車で淡路島一周に出たりとか、新聞配達をはじめ、昼間の仕事とかかけ持ちして働きました。装蹄も近所の乗馬倶楽部で、月 1 ですが、継続させてもらうことができました。離れていったものにしがみつきのながら、あきらめきれなかったんです。しかし、そんな状況のなか、そのままスリップを繰り返し、ギャンブルを断つことなく、嘘をつき続けた 7 年間でした。やめたいと願いながらも、脳は回復することはなかったです。以前 GA のミーティングで、「依存症者の脳は、大根の漬物。もとの大根には戻らない。」と聞いていてまさにその通りでした。そして昨年の 10 月垂水病院で、アディクションのプログラムを受けはじめました。きっかけは、サポートしてくれてた人にも嘘ついてやめることなくギャンブルを続けていて、すべて正直に打ち明けたからです。それからは、嘘がなく、孤独に闘うことなく、のめり込んでいたパチンコは、行かなくなりました。1 年 2 ヶ月になります。そのお陰で、ちょっとずつ貯金もできるようになりました。しかし競馬の方は、馬の仕事(装蹄師)をしていたことを理由に、G1 レースしかやらないし、コントロールできていると正当化して今年の G1 レース(宝塚記念)までしてました。ダルクの職員になったことで、かけることに躊躇してやっていないと言ったほうが正直なところですよ。

お金をかけて競馬を観る自分と、かけないで観る自分は明らかに別人であることが、最近わかりました。やらないことで、やっていた頃の自分が、客観視できてるのだと思います。



毎週 GA 神戸のチェアマンから、分かち合いのテーマのレジュメが送られてきます。その中で、因果一如って言葉が心に響きました。原因と結果は、一緒に生まれるという意味で、過去(因)=未来(果) 今日一日を大切に、ダルクで、今できることを一笑懸命やっていきたいです。そうすることで、いろんなことを楽しめる生き方ができそうな気がします。これからの人生は、マラソンでいうたら、ひとりでやったら、苦しくなる 30 キロ、でも今は違います、仲間がいるから眉間の皺をのばして、笑顔で走れそうです。明後日は、今年の 12 月に入った、野球チームの今年最後の公式戦です。子どものころ果たせなかった念願の野球チームに入って、嬉しくて楽しいです。実は、初打席初ヒット打ったんです。代打で。最高でした。出番があれば、ヒット打って打率 5 割で今年を締めたいです。今年は、釣りもはじめました。ギャンブルをやめて楽しみがふえました。そして、依存症からの回復を願う人の一歩を踏み出せるきっかけに関われることに感謝して、回復の道を歩んでる仲間と、今日 1 日自分も回復していきます。みなさん よろしくお願い致します。

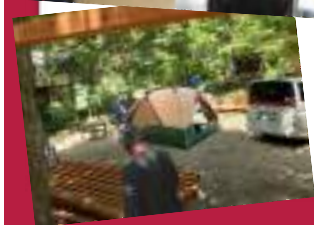


次女が生まれました スタッフ シモ

いきなりですが、8 月 21 日次女が産まれて来てくれました。体重は 2700g 名前は心暖(みのん)心暖かい子になりますようにとつけました。

僕の人生でもう一度こんな幸せを感じる事が出来るなんて思いもしませんでした。10 年前に矯正施設から京都のダルクに繋がり、自分が笑うことも許せなかった状態で、目標や、希望というものもありませんでした。実家に残っていた息子の為にも自分は関わらない方がいいのでは？との方が息子が幸せに過ごせるのでは？とっていました。そんな僕を京都のメンバーは親切にサポートしてくれました。そのサポートもあり僕自身の中で少しずつ変化がおきました。仲間との会話の中で笑顔になれるということ、声を出して笑う事等、出来るようになっていきました。その反面自分だけ笑ったり幸せを感じたりしていいのか？と悩むこともありました。そんな時に仲間が僕に伝えてくれたのは、**自分が笑えないのに他の人を笑わせる事できないように、自分が幸せを感じれないのに他の人を幸せになんてできないよ！**と伝えてくれました。そこから僕自身の中で自分を許してあげること、そのためには他の人を受け入れる事意識していくようになりました。その後社会復帰をし、就職、恋愛、結婚と自分自身が幸せになっていくこと、自分の幸せを感じる為にも周りの人やパートナーの幸せにしたいと思えるようになりました。2017 年 3 月 6 日長女の理暖(りのん)が生まれ、その時もこれまでに感じた事の無いような幸せを感じさせてもらいました。

今回の次女の出産のタイミングは世間でもコロナ禍で大変で僕たちの周りでもコロナの影響も出て不安感をぬぐえない中で迎えました。出産直前も、少しお腹痛いから病院行くわと行きそのまま入院、その日に出産という形になりました。さらに産婦人科の病床もいっぱい2日後には退院してくるという普通ではあり得ない形での出産でした。でもそんな中でも素面で子育てをし、毎日幸せを感じさせてもらえたり、させてもらっています。10 年前、希望なんて言葉すら思えなかった自分にとって、長女に続き次女の誕生にひしひしと幸せを噛み締めさせてもらっています。まだまだ回復途中ではありますがこれからも宜しくお願いします。



私の体験談

アディクトのタカです。繋がって 21 日になりました。覚せい剤を使い始めたのは友達に勧められた 22 歳の頃です。刑務所に 7 年 6 カ月入り、出たのは 2020 年の 1 月でした。神戸で 2 カ月、生コン打ちの仕事をしていましたが、刑務所で一緒になった友達が給料や待遇がいいので、「横浜に来ればいいねん。」と言っていたので横浜のゴミ屋に就職しました。中型免許もっていたらいけるという事でしたが、2 トントラックを運転したことがあるくらいなので、3 トントラックに乗った時はシフトが違うので、動かす事ができませんでした。2 トントラックに慣れてから 3 トンに乗るとすぐ乗れるようになりました。家庭ゴミと違って事業系ごみは一人でお店や事業所を回ってゴミを回収する仕事で、休みは基本的に日曜日だけで、3 週間に 1 回は日曜出勤があります。残業はつかない、ボーナスもありますが、月給 28 万円あり、保険や年金もあったので良かったです。忙しく働いていましたが、たまたま私だけ正月に 3 日間休みがとれて何する？となった時、私には覚せい剤しかありませんでした。その時は 2 回打って後は捨てました。そのまま仕事していましたが、3 月に事件が起きました。よく通っていたお店の女の子に本気の手紙を渡しました。(私は現在 48 歳ですが、どう見ても 20 代前半ぐらい) 覚せい剤より、こっちの方が犯罪ちゃうか？レベル。返事はなく、店も辞めたという事でした。ここから再使用が始まりました。前回逮捕された時は 7 年間好きやった女にフラれて世捨て人になったので、早めに片付けました。週末だけから毎日になりましたが、量も調整して残業つかないけど、1 時間早く出社して車の入れ替えして仕事も穴あけることなくやってたので、スローガンは「アホか薬やっても、まともなやつに絶対負けるかい！」でした。必ずやっていたことは、風呂につかって水を浴びるの繰り返しと食べれない時は、ウィダーインゼリーとレットブル、ポカリスエットで食べにくい時でもヨーグルトとバナナとか極力食べて、寝れなくても目をつぶってじっとしている事を 4 時間設けるといった感じで、うまくいってるように感じましたが、仕事仲間のチンコロにより出勤停止になりました。新宿で薬を抜いて民間の薬物検査を受けてクリーンを証明して提出しましたが、配置転換でめっちゃ待遇が悪くなるので、辞めて派遣会社に登録して中央市場のフォークリフトのオペレーターの仕事につきました。夜勤で給料もよく 2 カ月程でやっていけると実感した頃、今度は、休みの日だけやればええわと思って、やっていましたが、購入先を変えたこともあったのか 2 回目でコントロールを失って 3 時間ほど遅刻しました。働きながら、やっぱり時間も守れんようではアカンわと思い、覚せい剤やってるから辞めますわと言って帰ってきました。前職と比べて給料は変わらへんけど、休みが増えた事が災いしました。兄貴に電話して事情を話し、懲役でも迷惑をかけたので親には自分では、よう言われへんので、話を通しとってくれと言って神戸に帰りました。一度落ち着いて、また帰るつもりでした。次の仕事するのに時間がかかった時の為にお金を融通してもらう作戦です。しかし親がダルクに相談に行ったらというのでそうしました。懲役の薬物プログラムで広島ダルクからトモさんが来ていたので相談に行くのに迷いはありませんでした。相談だけして帰るつもりでしたが、応対してくれたスタッフの方の体験と、何でもしてやりたいという想いは伝わりました。薬を使いたくなった時に電話出来ますか？と言ったら、いつでも飛んで行ってあげると言ってくれました。この瞬間で、この人は友達やと思いました。自分が思っているだけで、入寮したら利用者とスタッフという関係になります。

家に帰って認知行動療法で、不安なことでと未練のあることを書き出すと、未練の方が横浜の生活と人間関係の 2 つで不安な事の方が圧倒的に多くなりました。人間関係が一番大事なのですが、数年音信不通で消えてしまうような関係ならあっても仕方ないと思うし、親も死ぬまでに安心させてくれと言っていたので入寮を決めました。10 月はじめやったのですが、フィリピンパブのお姉ちゃんの誕生日が 11 月 10 日だったので、その日に合わせて引っ越すことにしました。ほんまナメとんか！長い時間と金があったのでダルクに行くまでに最後に薬使ったらええのに、断薬でもう下がる所がないので、もう前にしか行かれへんわと思ってたら忘れてました。どこまでダボやねん！身辺整理も終わり、17 日に入寮しました。日々過ごす中で登山、畑、ゴルフ、ミーティングと様々なプログラムを受けました。しかし、初日のゆったりとした時間の流れに「しまった！めっちゃ遠回りしてたんちゃうか？」が最初の印象でした。今までは時間と労力を売ってお金をもらうという生活やったので価値観が 180 度違いました。後に鳥取の冬支度に行った時に仲間に聞いたら、仕事しとんとちゃうから、これはこれでゆっくりやればいいと言ってくれたのでそうゆうもんなんかなと思いました。



一番驚いたのはステップミーティング1の青本を読んだときです。若い時は勉強する意味なんか分らんかったけど、年をとって（身体的に）楽して、たくさんお金稼ぐために勉強するんか？くらいの認識でしたが、青本読んだら、はぁ～？何コレ？生きる為に勉強するんや！っていうかイコールやん！私は一神教の信仰者ちゃいますが、これ作った人ら神ちゃうん？と思いました。ハートにブリズムのタトゥーを刻まれました。体内では震源地はわからへんけど、マグニチュード100レベルの衝撃。トランプの大富豪でいうところの革命！最下層がダイヤモンドに変わる。どこまでオーバーリアクションやねん！断薬出来たらスタッフやりたいとか思ってましたが、ほんま薄っぺらい奴やなと思いました。理屈ではなく目の前の課題に取り組まんかい、このボケッみたいな…。金では買えない宝がたくさん眠っているような気がします、日々の生活のなかで見つけていきたいと思います。まだ始まったばかりですが、断薬の道を進んで行きたいと思います。

救われなかった人達が救われる。最も苦しんだ人達が、ゼロから生み出した現代の聖典を読むとき、人類の偉業に敬意を表します。最後に入・退寮時にぴったりの歌があって、氷室京介の「The Sun Also Rise」良かったら聞いてみてください。だから、課題に取り組めっちゃうねん！（笑）以上 ありがとうございます。

トゥエンティークロス カギヤン

山登りに参加した時、最初はこんな所、楽勝だと思ってた。しかしかなりきつい道や坂に挑む俺。昔の俺だったら絶対に途中で辞めていたと思う。でも、石畳の坂を登っている人やおばあさんたちが楽しそうに歩いている。姿を見ていると僕も頑張っって山道を歩かないとダメだと思って、歩いたけどそんなに甘くはなかった。険しい坂や川の石を渡って歩いて登る。でも、仲間たちも、しんどいけど歩いている。その姿を見たら、僕も歩いて最後まで登るのだと心に決めて登った。しんどかったけど、おばあさんたちも歩いている



のに僕だけが辞めると悪いなと思って頑張っって歩いたと思う。実際には、ちょっと登るだけで息や胸がバクバクいって、まわりでは、おっちゃんや、おばちゃんや女の方は、元気で歩く、運ぶ足もスムーズに運んでいるのを見てたら、笑顔になれた。元気になったような気がする。周りの景色も紅葉も綺麗で、僕の心の中も素直になれる気持ちで一杯だったような気がする。布引の滝も見るのも初めてで、神戸にいながら山登りなんかしないので、いい経験になったと思う。しんどいけど心の中はすっきりした感じがする。登山もいいなと、思った。今度登れる機会があれば、もうすこし早く登れるようにしたい。空気もいいし、回復には、とっておきだと思った。景色を見ながら。いい空気を吸込み登山をしたいと思う。川の水も綺麗だし、人も通り過ぎたら声もかけてくれるし、「こんにちは！」っと、僕は外では尖がっていたから、そんなことはしなかったけど、登山の経験で、素直な心になれたと思う。山を登山する気持ちがわかるような気がする。

人もいっぱい登山道にいたし、悪いことしないで趣味で山登りでも今度はしようと思う。

真面目に汗を流したいし、健康にもいいし、頑張っって登山をしよう。

「愛」 ヒロ

僕は2019年3月から神戸ダルクに入寮し自分の回復について日常を通じて学ばせて貰っています。薬物依存症のヒロと言います。

今回僕に与えられたニュースレターのテーマですがズバリ愛です。このテーマを頂いて思ったこと、僕に一番欠けている部分です。僕が一番必要とし取り戻したい部分なんです。それは何故か？

僕は長年薬を使い続けて来た事でこのテーマの愛を失って来たからです。

人を傷つけたり、裏切ったり、嘘をついたり、騙したり悪に魂を売り飛ばして生きて来ました。そんな自分を薬が助けてくれた。でもそれって一時の事でその後についてくるのは自己嫌悪。それを又薬で誤魔化す。そんな繰り返しの中段々感覚が鈍麻し薬も効かなくなりました。本当に薬中心の世界だったんです。それ故に、人として人を思いやったり、深く共感したり、許し受け入れたり、他者を尊重し大切にすること、自分を大切にすること失っていました。今与えられた場所で僕に出来る事、今日1日を大切にクリーンで生きる。その事の積み重ねが心の回復、魂の回復に繋がると信じて生きています。きっとそこに愛が生まれることも…

写生大会 おっちゃん

私が神戸ダルクに入寮して早、9ヶ月が過ぎ、ダルクでの生活にも随分と慣れてきて、同じ道を歩む仲間たちとも深く分かち合える様になりました。ダルクでの生活は全てが回復のためのプログラムであり、毎日行うミーティングを主軸として、畑での農作業やエイサー（太鼓）の練習、食事作り（副菜作り）と、色々ありますが、中にはレクリエーション的なモノあり、先日（11月24日）には六甲山20クロスロードウォークのコースを歩いて登り、森林植物園まで行くという（往復）私にはかなり



ハードなプログラムだと思い、体力に自信のないものは直接車で森林植物園へ向かい、植物園の秋の風景を写生することになり、登山班と写生班に分かれて行動することとなりました。私は体力的に自信がなく、写生班を希望しましたが、なぜか登山班に振り分けられてしまし、登山をすることになりました。同じく、選ばれた仲間たち数名とJR新神戸の裏側から始まるコースをスタートして登り始めました。私はよくある軽めのハイキングコースだろうと思い、簡単に登れるモノと考えていましたが、歩きはじめて、スグに急な先の見えない石階段が目に入り、もしかして結構ハードな登り下りのある山でハイキング気分はすぐに失せてしまいました。とは言え、登山もプログラムの一環であり、登らないわけにはいかず、一歩ずつ前へと足を運び、森林植物園に向かって歩き出しました。スタートからゴールの森林植物園までは徒歩で約3時間半程かかるらしく大変でした。そんな中、先ゆく仲間の一人は率先して前を歩き、「あと少し、もう着くからガンバレ！！」と励ましてくれますが、「あと20分程…」と言われてから既に1時間以上過ぎた後もまだ「あと20分くらいで到着や！！ガンバレ」と言われても…ゴールにはなかなか着かない。ようやく森林植物園の裏側のゲートを通過しましたが、車で先着して写生会班の仲間たちがいるのはまだ先で正門前の近くにある広場でようやく仲間達と合流して、昼の12時を過ぎており、お腹もペコペコで、朝早くから仲間が作ってくれたお弁当に皆群がり、特に山を越えてきた登山班は我先にとお弁当のおにぎりとおかずの玉子焼き、唐揚げやウィンナーにかぶりつく様に食べていました。昼食がすみ、疲れて体をしばし休めていると、午後から登山班は、今来た山道を逆戻りして歩いて帰るとの事を聞き、大変驚きました。「えっ！往復ですか！？マジで？」もう無理…体が悲鳴をあげている。53歳で運動不足で体力がないおっちゃんに復路は絶対に無理だと私と同年のスタッフに告げると「午後は写生班と合流して、一緒に絵を描いてください。」と復路で戻って帰ることは回避されました。が、絵を描いて提出しなければならないことに…絵など描いたのは40年も昔のこと。中学生の時に学校から市立植物園へ行き、やはり同じく、写生会をした記憶がありますが、私には全く絵心がなく、エタクトでとても人に見せられるモノではないし、絵を描く程の気力、体力がなくて、結局絵は描かずにプログラム終了の4時まで、只々ただらしていました。私は誰のための、何のためのプログラムなのか、あまり深く考えることなく、レクリエーション気分で山に登り、森林植物園で絵を描かず、復路を歩かずに車でディケアセンターへ帰ってきてスタッフからお叱りを受けました…。後日、このニューズレターの作文のテーマを聞いて驚きました。テーマは「写生会」でした。写生会で絵を描いていない私にこのテーマで何を描けというのか!!と一時、怒りの感情に支配されそうになりましたが、結局絵を描かなかった私の責任、スタッフに怒るのは全くとお門違いというモノ。自分で考えて「写生会について」で書くこととしました。今後はスタッフの言う通りに、プログラムに従うことにします。その回復の道を歩みます。



活動報告

10 月後半

加古川学園 家族、本人講演&面談
アディクション問題を考える会参加

11 月

鳥取ログハウスリフォーム
カリタスジャパンセミナー参加
モチベーションマネジメント研修参加
近藤さん神戸国際医療交流財団視察
リカバリーホームサテライト住居オープン
ベターファミリーズ姫路スタート
兵庫県地域生活定着支援センター訪問
愛知家族会講演
クラブハウスプログラム始動
グリコピア見学
やまぶき財団ダルク訪問&桃山台新規 GH 見学
しぶたね ZOOM 講演「あなたの声を届ける」
高齢者とアルコール研修参加
虐待防止講習参加
20 クロスハイキング
森林植物園写生大会
スタミナタロー焼肉食べ放題
お宝一番館買い物デー
国際集学的治療学会学術大会参加
伝統ワークショップ開催

12 月

兵庫県精神保健福祉センター講演
しあわせの村 あるこう会&ゴルフ大会
ソフトボール練習&ドローンテスト(映像クラブ)
加東市立三草小学校講演
神戸市精神保健福祉センタースピーチ
クラブハウス会議
須磨アルプス登山
神戸ダルクパソコン教室オリエンテーション開催
沖縄勉強会参加
公認心理師学会参加
神戸工業高校定時制講演
アバランチ講習会参加
ファイザー助成授賞式参加
大掃除

定期開催

姫路家族教室 毎月第2土曜日
神戸ダルク家族会 毎月第4日曜日
姫路無料家族相談 毎月第1火曜日
尼崎無料家族相談 毎月第1水曜日
垂水病院すまーぷ参加 毎週金曜日
保護観察所すまーぷ 毎月第4金曜日
ヨーガプログラム 毎月1回

近況報告・活動予定

自助グループの再稼働を中心とした活動が始めていけそうです。2 年近くになるコロナ禍での生活と命を守ることでも大切ですが、これから元に戻していくことも、自粛すること以上に大変です。それくらい私たちの生活様式は変化しました。ミーティングでハグの暖かさを知らない仲間もたくさんいます。イベント参加や、仲間との旅も経験していない仲間もたくさんいます。コロナ前に、ダルクの卒業生のために、地域との連携やつながりが大切な時期に来ていました。コロナは色々なものを奪っていきました。でも、私たちはもう一度、基本に戻り、自由を手にする意味と、人とのつながり、そして回復を信じる希望を見つけられるようにシフトをゆっくり入れ替えていきたいです。年始のニュースレターは年賀も含めて 1 月に特別号で発行します。

神戸ダルク ヴィレッジ広報誌「Threshold」 年間購読のお願い

この広報誌「スレッショルド」の年間購読のお願いです。障害者低料第三種郵便物の取得が遅れており、皆様をお待たせしてしまいましたが、漸く第三種郵便物の取得ができました。年間購読費は年 6 回発行で 2000 円になります。お申し込みは FAX、電話、メール、または同封の振込用紙にてお願いいたします。お申し込みの際は「住所・氏名・電話番号」を必ず明記ください。

※ 配布用に、当ニューズレターを置いていただける場合はご連絡ください。たくさんの方に読んでいただけるように希望数を郵送いたします。私自身もこのような広報資料を見つけたことがきっかけで回復の場所を見つけることができました。ぜひ、まだ苦しむ依存症者の助けとなるようにご協力ください。

支援会員のお願い

神戸ダルク ヴィレッジでは、支援会員として、活動を支えてくれる方を募集しています。

兵庫県の薬物依存症者を助ける活動をご支援ください。
個人会員は 1 口 3000 円（ニューズレター定期購読料を含む）からになります。 刑務所内の方々との文通による支援のための切手代などに使わせていただきます。

ご連絡をお待ちしています。

領収書希望の方は一言ご記載ください

神戸ダルク ヴィレッジ

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail: kobe.darc@gmail.com

電話相談 来所による面談 メール相談 相談の内容に関しての秘密は厳守します

逮捕・勾留中の方々への支援

刑務所・拘留所・留置所への面会、手紙などによる逮捕者及び保釈中の方への裁判での情状証人出廷や、刑務所出所者への薬物からの回復を希望する方の引受人としての指導対応や、出所前面談など、他機関と連携しながら対応しています。また、資料請求などもご連絡いただければ対応いたします。

★月曜～金曜 10:00～17:00

メールは 24 時間 OK。 kobe.darc@gmail.com

神戸ダルクへのご献金・献品のご支援本当にありがとうございました。

開設から今日までをたくさんの方々に支えられてきたおかげで、仲間一同、回復のプログラムに取り組むことができています。心より感謝いたします。これからも暖かく見守ってください。

ご献金

間 明子様 北村 央恵様 千葉菜の花家族会 富井 健夫様 佐藤 喜三子様 近畿厚生局麻薬取締部 松本 靖広様
横田 尤孝様 大月 勝様 富田 康代様 永野 真理子様 田中神経科クリニック様 大阪Ⅱゾントクラブ 会長 幡山 玲子様

ご献品

金山 悦子様 兵庫県健康福祉部健康局薬務課薬務対策捜査班様 森保 純子様 兵庫県地域生活定着支援センター様
山崎 圭様 匿名の方からお米

(令和3年9月7日～令和3年12月6日到着分・順不同 ※購読料・支援会員費の方を含む)

寄付や献品のお願い

引き続き、非常に苦しい状況の中、お米などのご支援ありがとうございます。不思議なもので、お米のストックがあると、本当に安心します。生活習慣病を気にしながらも、回復初期は食べて栄養をつけて体力的に回復するところから始まります。コロナ。まだまだ予断は全く許さず、少し行動範囲も広がったものの、自粛生活は続いています。ご家庭で余っている食料品（米、野菜、乾物、味噌、醤油など）から洗濯洗剤やシャンプー、石鹸、などの日用品などがございましたら、神戸ダルクまでご献品ください。たくさんありましたら、車で取りにいくこともできます。年末年始は刑務所から出てきた仲間たちが一般家庭のように暖かく正月を迎えることを目指します。回復の中で、普通の家庭の様に安心して家族でご飯が食べられる様な環境はもっとも回復支援に役に立ちます。外出が少ないため、ストレス発散には、どうしても食事が進んでいきます。心苦しいですが、ご協力をよろしくお願いいたします。

ご寄付振込先口座 ゆうちょ銀行

口座番号 00950-9-275937

口座名 シヤ) コウベダルクヴィレッジ

店番 〇九九 0275937

献品の送り先住所 653-0041 神戸市長田区久保町 7-7-18

一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ

編集後記

年の瀬です。コロナの影響か、あっという間の一年でした。色々なことがありすぎた一年でした。まるで、薬物の再使用をしてしまったかのようなドラマティカルな時間が過ぎていった気がします。生きるということを考えました。正直に生きるということを考えました。個人がやっていることは全てブーメランのように自分の心に突き刺さるということを俯瞰して見ていた1年でした。その中でも、仲間達が変わっていく姿が、私たちには見えました。

このまま、コロナが収束していけば、できなかったことを精力的に伝えていき、神戸という街と繋がる回復を目指したいと思います。

神戸ダルク ニューズレター Threshold (出発点) Vol.28

編集人 一般社団法人 神戸ダルク ヴィレッジ 梅田靖規

印刷 プリントバック

〒653-0041 兵庫県神戸市長田区久保町 7-7-18

TEL 078-224-4244 FAX 078-219-9741

e-mail kobe.darc@gmail.com

www.kobedarc.org

価格 1部 100円 年会費 2000円

(購読料は年会費に入ります)

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4 階